

第5学年1組 道徳学習指導案

福津市立神興東小学校

1. 主 題「友達っていいよね」(資料：それいいね 日本文教出版) 高学年2-(3)信頼・友情、男女の協力

2. 指導観

- 内容項目2-(3)「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。」は、友達同士の相互の信頼のもと、協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い、真の友情を育てることが求められる。また、異性に対する正しい理解と男女間の友情を育てようとするものである。

信頼とは、相手信じ頼ることである。日常の様々な活動を通して、お互いを理解することで、互いの個性を認め合う中で信頼が生まれるのである。この信頼する関係が築かれることにより、お互いに相手を認め、協力し合い、助け合う関係が生まれ、人間尊重につながる。友情は、お互いに向けられたものであり、相手の成長を願う思いやりと、それに応えようとする誠実さによって支えられている。このような経験や体験を通して、相手が同性であろうと異性であろうと、互いに協力し合っ、お互いの理解を深め、高め合う切磋琢磨する関係の中で育まれるものである。

本主題の指導内容である「信頼・友情、男女の協力」について、男女共同の集団的活動などを通して、互いの特徴を理解し合い、相互の関わりをもち、支え合っていくことなどにより、協力していこうとすることの大切さに気づくことである。

そこで、「信頼・友情、男女の協力」について低学年では、友達と仲良くし、助け合うことの大切さを、中学年では、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことの大切さを学習した。本主題では、高学年の互いに信頼し、学び合っ、友情を深め、男女仲良く協力し助け合うことの大切さを学習する。さらに中学校では、友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うことと、男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重することの学習へと発展するものである。

- 本学級の子ども達は、委員会での活動において、役割を分担しながら、男女が協力し合っ、活動をしている。また、学級での係活動ではノート配りや、話し合い活動での司会グループの活動を男女が知恵を出し合い、よりよい学級づくりのために協力し合っ、できている。さらに、11月下旬に予定している夜須高原でのキャンプに向け、積極的に各係で話し合い、キャンプのスローガンや活動のめあてなど、意見を合わせるなどして、よりよい活動にしようとして協力し合っ、計画や準備を進めている。しかし、日頃の生活の一面において、自分にとって無関心なことやその場の感情で非協力的な行動や言動をしまい、友達を傷つけてしまうこともあった。このことは、男女ともに相手のよさや不十分さも含めて、十分気づいていないからである。

そこで、委員会や係などでの活動を通して、よりよい学校・学級にしていきたいと願い、積極的に活動できるようになったこの期に、本主題を取り上げる。そして、本主題から子ども達に、男女が協力するということは、互いに認め合うこと、信じ合うこと、信頼し合うことが大切であることに気づかせ、互いに切磋琢磨して、男女がお互いに理解しあっ、協力しようとする態度を育てたい。このことは、今後の学校や地域社会での生活において、男女が互いに協力し合い、よりよいものをつくり上げようとする活動をしていく上で意義深い。

- 本資料「それいいね」を通して、削りかすを一緒に片づけてくれた三郎に対するさとみの心情に迫らせ、男女がお互いに理解し合っ、友情を育て、協力しようとする態度を育てることをねらいとしている。そして、さとみが教室の床に鉛筆の削りかすをばらまいてしまい戸惑っているときの気持ちやさとみやとも子と男子が協力して掃除を終わらせ、笑いながらゲームをしているときの気持ちを場面設定表をもとに、工夫しながら十分共感させていきたい。

本主題の指導にあたっては、資料中のさとみの心情に共感的に迫らせ、さとみが男子に対して抱いている気持ちをもとに、小集団でのグループの話し合い活動や役割演技を通して、男女が互いに理解し合い、協力し合う大切さを捉えることができるようにする。

まず、「見つめる段階」では、男女がお互いのことをどう思っているかについての事前アンケートの結果を振り返り、男女の関係についての課題をもたせて学習のめあてをつかむ。次に、「押し量る段階」では、資料を通して、最初いいかげんな男子に対して、軽蔑していたさとみが日直の仕事をする際、鉛筆の削りかすを床に落してしまい、一緒に片づけてくれた三郎への気持ちを考えさせる。その際、小集団でのグループでお互いの考えを確認させ、自分の考えを付加・修正・強化する。その後、さらに自分の考えを深め

るため、役割演技を見て全体で交流する。そして、さとみが男子に対して、掃除の協力を頼み、掃除を終えて楽しく会話しているときの気持ちや、前の場面ときの気持ちの変化について、ハート図を使いながら、お互いの気持ちの距離を視覚的に捉えさせる。その後、「見つめ直す段階」では、めあてや事前アンケート結果表、資料中のさとみの気持ちを照らし合わせながら、男女が互いに仲良くするときには、認め合ったり、理解し合ったりすることなどが大切であることに気づかせたい。最後に、男女がお互いに協力し合って活動している様子を写真などで振り返り、理解し合って友情を築いていく大切さに気づかせ、よりよい関係をつくっていかうとする意欲をもって、男女の友情を深めていかうとする心情を育てたい。

3. 主眼

- さとみが三郎に助けてもらったことが書かれている資料の学習を通して、男女がお互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする心情を育てる。
- さとみの男子に対する気持ちの変化の様子を表した挿し絵や語句カードなどを通して、さとみの気持ちを共感的に考えたり、小集団のグループで意見を確認し合ったりしながら、男女の協力についての見方や考え方を高めることができる。

4. 本時

本時仮説

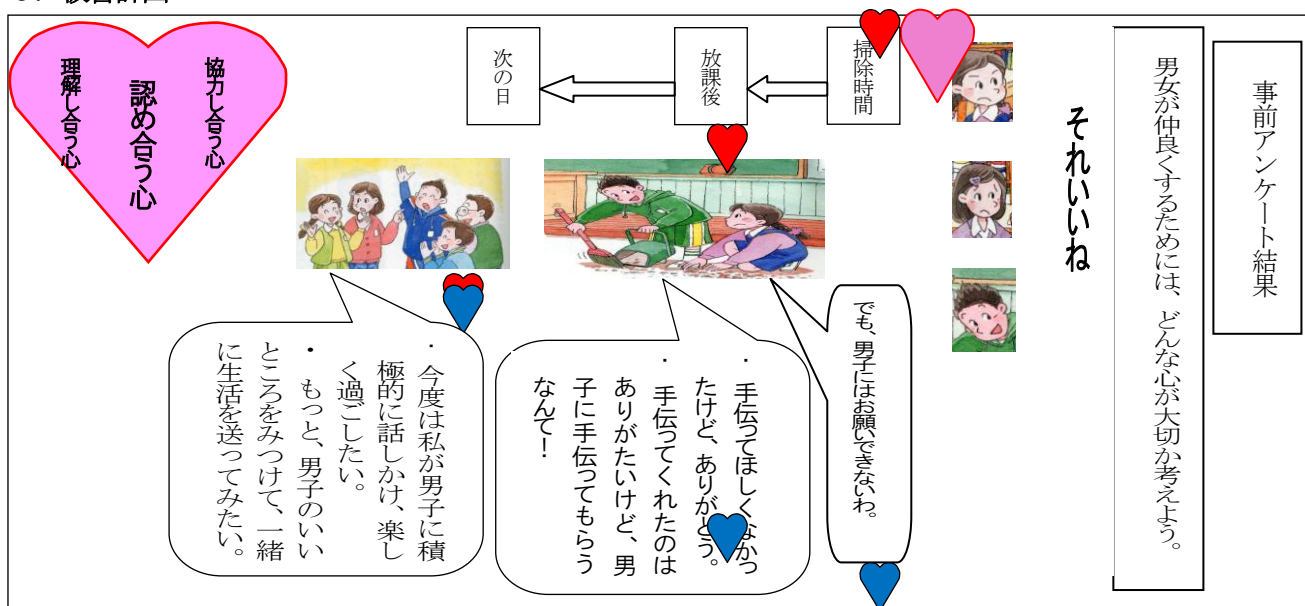
本時学習において、以下のような手立てを工夫することで、男女がお互いに理解し合うことや信じ合うことにより、協力しようとする心情を高めることができるであろう。

- ① 日常生活からの男女の協力に関する事前アンケートの提示の工夫
- ② 視覚的に、場面の様子を捉えることができる場面設定の工夫
- ③ 自分と友達との考えを小集団で話し合う場の工夫

5. 準備

- 教師… アンケート結果、挿し絵、語句カード、ハート図、場面設定表
 児童… 道徳ノート、話し合いヒントカード、資料

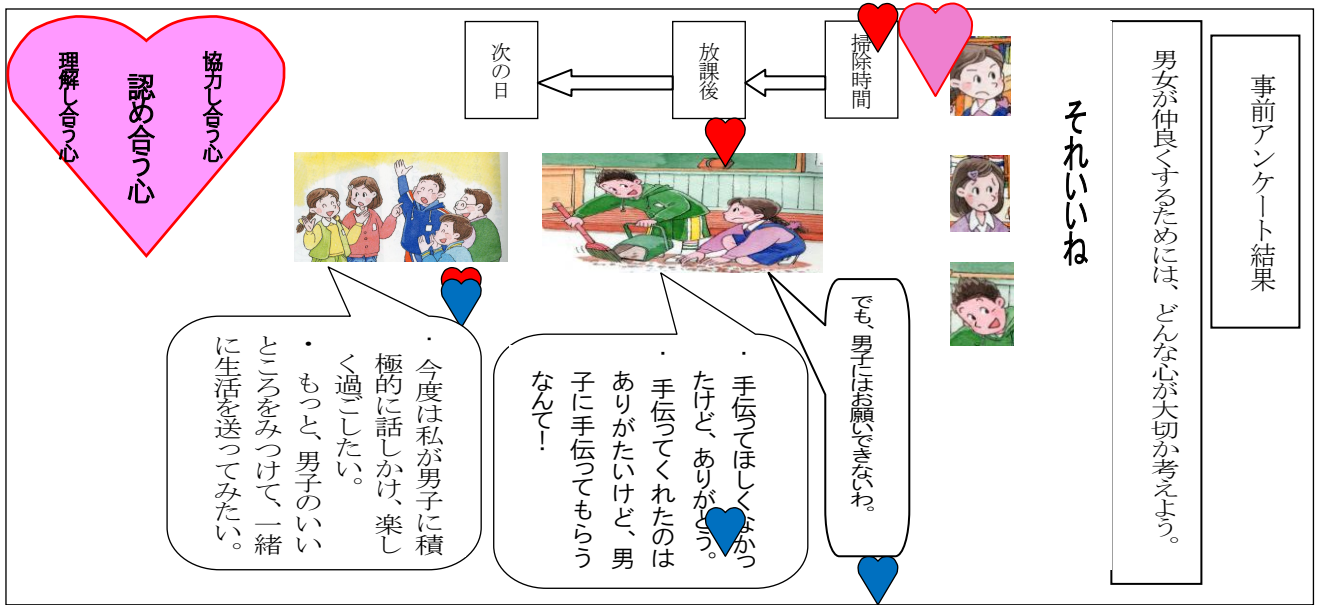
6. 板書計画



7. 学習過程

階	学習活動	指導上の留意点
見 つ め る	1. 日常の生活で、お互いへの思いを振り返り、本時学習のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 男子⇒女子… いつも真面目で、どんなことでも一生懸命に取り組むけど、ちょっとしたことですぐ怒らないでほしい。 女子⇒男子… 男子同士、とても仲良しだけど、あまり、大声を出さないでほしい。 	1 事前アンケート結果や写真から、男女がお互いに対して思っていることやお互いのよさについて想起し、男女のよりよい関係についての学習の方向づけを行う。
男女が仲良くするためには、どんな心が大切か考えよう。		
推 し 量 る	2. 資料「それいいね」を読み、さとみの男子に対する気持ちの変化していく様子を話し合う。 <p>(1) さとみの男子に対する気持ちの変化について、役割演技を見たり、小グループで交流したりしたことをもとに話し合う。</p> <p>① さとみが鉛筆の削りかすを落としてしまい、男子にお願いできない時の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> どうしよう。でも、いつもふざけている男子にこっからお願いなんてできないわ！ 三郎君に手伝ってもらおうかしら。でも、いつもいい加減に掃除をしているから。 困ったわ。急いで拾わないといけないけど、一人じゃ時間がかかる。でも、男子には…。 <p>② 三郎が「困っているときに、男子も女子も関係ないよ」といい、手伝ってくれたときのさとみの気持ちを見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> えっ！あ、ありがとう。 今まで男子は、女子のことを気にもしないと思っていた。 今まで私が男子に冷たい考えで接してきた。反省しないといけない。 <p>③ 小集団のグループで、男子に対するさとみの気持ちを確認し合いながら、赤鉛筆で自分の考えを書き加える。</p> <p>④ 役割演技を見て、書き加えた自分の考えを深める。</p> <p>(2) さとみは、男子に協力して掃除をすることを提案し、賛成してもらった時の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今度は私が男子に積極的に話しかけ、楽しく過ごしたい。 もっと、男子のいいところをみつけて、一緒に生活を送ってみたい。 みんなで協力して、笑顔で過ごしたい。 	2 場面設定表をもとに、語句カードなどを示したり、役割演技をしたりしながら、場面ごとのさとみの男子に対する気持ちをおさえる。そして、さとみの気持ちを共感的に扱いながら、男女のよりよい関係について迫る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 最初、男女の心が離れている様子を場面設定表や板書でおさえる。 ○ 三郎が教室に戻ってきたときの様子をおさえ、さとみが男子を嫌っていることに気づかせる。 ○ 男子に対するさとみの気持ちの変化に気づかせるため、ハート図を使い視覚的に男女の心の距離を捉えさせる。 ○ 3・4人のグループで、お互いの考えを確認し合う際、友達の考えに納得したことや修正したこと、付け加えたいことをノートに赤鉛筆で書き加えさせる。 ○ 話合いが滞っているグループには、カードを示してアドバイスする。 ○ 役割演技を見ながら、グループで確認し合った考えをさらに深める。 ○ さとみが三郎の手伝いに戸惑いながらも、感謝の気持ちをもっていることをおさえる。 ○ さとみの提案に、男子が賛成したときのさとみの喜びに気づかせ、男女ともに、楽しく過ごしたいという思いに気づかせる。 ○ めあてに立ち返り、今までの学校生活などでの経験を思い出しながら、男女が仲良くするために大切な心(気持ち)について話し合って気づかせる。
見 つ め 直 す	<p>(3) さとみの男子に対する気持ちの変化から、男女が仲良くするための大切な心について話し合う。</p> <div data-bbox="300 1809 817 1944" style="text-align: center;"> <p>男子 ←→ 理解し合う 認め合う 協力し合う → 女子</p> <p>男女が仲良くするために…</p> </div> <p>3. めあてに沿って、本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 今後の男女の協力についての考えを書く。</p> <p>(2) 5年生になって、男女が互いに協力し合っている様子を振り返り、本時をまとめる。</p>	3 今までの学校生活の中で、お互いに協力したり、認め合ったりした様子を写真などで振り返り、今後の生活への意欲を高める。

7. 板書計画



さとみ・とも子

三郎

そうじ時間

急いで、図工室へ行き、掃除にとりかかる。

「男子たち、また来てない」
「どうせ、チャイムが鳴っても遊びをやめられないで、だらだら遊んでいるに決まっているわ」

「ちょっと、あんたたち、遅れてきてなんか一言ないの?」

「さとみ、もう男子なんてほうっておこう」
黙って、そうじの続きを始める。
男子の様子を見て、我慢できなくなり
「はい、まじめにやった女子はここまで。あとは遅れてきた男子がしなさいね」

女子は、教室に帰っていく。



「セーフ。はい、そうじ、そうじと」

はいはい、細かいことは気にしない、気にしない」

その日の放課後

運動場で遊んでいる。
「とも子、ごめん、先に帰っていて」と教室に戻って、日直の仕事をする。
つまずいて、鉛筆削りのかすを床にばらかいてしまう。

「どうしよう……」

(手伝ってもらおうかな。でも、男子にお願いなんてできない)

「いいよ、自分でやるから。男子に手伝ってもらうなんて……」と断ろうとすると、

「ありがとう」という。



三郎がボールをかたづけにくる。

黙ってほうきとちりとりを持ってきて、削りかすを集め始める。

「困っているときに、男子と女子も関係ないよ」

昼間の掃除時間のときとは全然違う態度

「はいはい、細かいことは気にしない、気にしない」

次の日の掃除時間

「また男子たちったら」
「わたしに任せて」

「昨日、テレビ番組にやっていたゲームをしない?」

相変わらず、男子はふざけながら掃除をしている。

「それいいね。やろうやろう」と賛成する。

みんなで協力すると短時間で掃除が終わり、みんなの笑い声が聞こえる。

